〒745－0034　周南市御幸通２丁目22
防長本社　Eメール　bocho@chugoku－np.co.jp
中国新聞山口　Eメール　chugoku@c－spice.co.jp
情報サービス　URL　http://www.c－spice.co.jp
☎0834(33)5605　FAX0834(33)5610

ホッと通信

教育・文化

にしゃんたのやまぐち日記 ③

# 心豊かな学問教えたい

## 経済学超えた何かを

僕の父とかに聞くと、日本が昔、奨学金を出して留学生を募集していると知っていても、誰も応募しなかったらしい。日本が経済発展し、それに比例して留学生の数も増えてきたんです。僕が来日したのはまさにバブルのころ。それこそ「ジャパン　アズ　ナンバーワン」と言われていた時期なんです。

日本で何を勉強するかとなると、何の迷いもなく経営とか経済とかしか思い浮かびませんでした。日本で進んだ学問を勉強してスリランカに持って帰る。そんな発想に何の違和感もなかったと思います。現に僕が留学生と分かると、周りの人は「将来はスリランカに帰って国のために頑張って」と、口をそろえて言うのでした。

僕は当初、学部を卒業できたら上等だと思っていました。それが、日本のことをもっと知りたいと思うようになって、気がついたら大学院まで進学していたんです。博士課程を出ると、就職先は大学教員になったりするのです。それで今の大学からの教員公募を見つけて応募した結果、今の僕がいるんです。

にしゃんた講師の授業を受ける学生たち（県立大）

採用通知をもらった時のことは今でも鮮明に覚えています。感謝の気持ちもさることながら、もう一つ思ったのは、採用した人事の方は遊び心があるんだなってことでした。有名大学を出て就職が決まらない日本人がたくさんいるのに、スリランカ人を雇うのはなぜか。先進国の日本が、発展途上国って言われるスリランカ人に経済を教える組み合わせが面白いとわれながら思いました。

それからは、なんで僕が採用されたのか、そして僕が日本人の次世代に教えられる経済学とは何かを一生懸命に考え、僕なりの結論にたどり着いたのです。

僕は、今まで正しいと思っていることが、そうでないかもしれないことを、皆に考えてもらえる存在でありたい。何よりも学生たちには、なんでスリランカ人が経済を教えているのか、経済学を超えた何かをつかんでほしいと思うのです。

（県立大国際文化学部講師　J・A・T・D・にしゃんた）

経済は限られた資源を使って人間を無限の欲望を満たすために、人々を幸せにすることを考える学問なんです。日本は物質的に豊かな国です。でも、今の経済は数字が一番の判断材料で、ドライな学問と化している気がしてならないのです。

そうです。僕の仕事は国の違いを超えて温もりを感じられる経済と、日本が経済発展によって忘れかけている心の豊かさを気づかせてあげることなんだと思います。

比較的ラフな格好をしていることもあってか、僕は大学教員に見られることはまずありません。職業を言うと「どうせ、スリランカの文化や言葉を教えているでしょう」と決めつけられます。